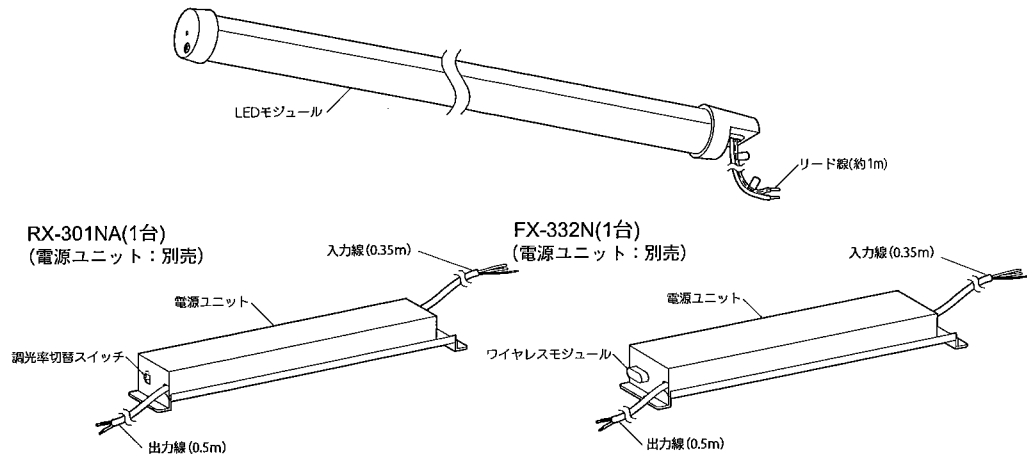


# LEDZ.

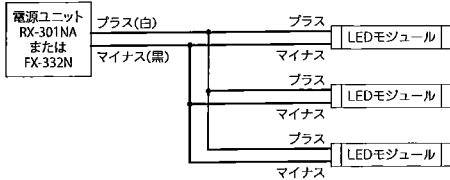
【型番】 RA-664EA, RA-664NA, RA-665EA, RA-665NA, RA-666EA, RA-666NA, RA-667EA, RA-667NA, RA-670NA, RA-671NA, RA-672NA, RA-673NA, RA-676N, RA-677N, RA-678N, RA-679N  
RX-301NA, FX-332N

◆各部の名称 この図は一部省略抽換した共通部品図です



LEDモジュール型番	長さ	消費電力	接続可能台数	電源ユニット型番	定格周波数	定格電圧	入力電圧	入力電流	消費電力
RA-664EA, RA-664NA RA-670NA, RA-676N	1198mm	11.2W	1~5本	RX-301NA	50Hz/60Hz	AC100V~242V	100V	75mA~663mA	6W~65W
RA-665EA, RA-665NA RA-671NA, RA-677N	890mm	8.0W	2~7本				200V	60mA~346mA	
RA-666EA, RA-666NA RA-672NA, RA-678N	580mm	5.6W	2~10本	FX-332N	50Hz/60Hz	AC100V~242V	100V	123mA~700mA	11W~69W
RA-667EA, RA-667NA RA-673NA, RA-679N	330mm	2.4W	4~20本				200V	80mA~350mA	
							242V	82mA~300mA	

※最大接続時の1本当たりの消費電力となります。  
接続可能台数は電源ユニット1台当たりに接続するLEDモジュールの台数となります。接続可能台数の範囲内でご使用ください。  
※LEDモジュールは電源ユニットに対し並列に接続してください。  
※電源ユニットからLEDモジュールの接続長さは、モジュールから出ているリード線(約1m)の長さの範囲内で行ってください。  
＜配線図＞



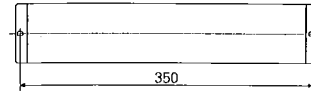
△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

## ◆LED光源について

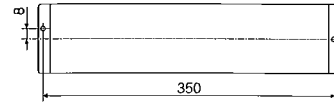
- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べパツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDランプが完全に消灯しない場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- 赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作する場合があります。
- 大電力機器(コピー機、ドライヤー、電子レンジ、冷暖房機器など)を使用した場合の瞬時的な電圧変動によって、ちらついたり明るさが変化したりする場合があります。

## ◆取付寸法

### ●RX-301NA(電源ユニット)



### ●FX-332N(電源ユニット)

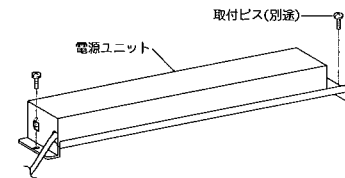


※この図は取付面から見た図となります。  
(電源ユニットを下面から見た図となります。)

## ◆取付方法

- 安全確保のため、電源ブレーカーおよび、電源スイッチを遮断してください。  
△ 感電の原因となります。
- LEDモジュールおよび電源ユニット重量に耐えるよう、取付面の強度を確保してください。  
△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損などの原因となります。
- LEDモジュールは取付金具で確実に取付けてください。  
※取付金具は別途ご用意ください。  
※メンテナンスとして既設のランプホルダーにLEDモジュールを取付けの際、ランプホルダーの内径の方が大きく保持できない場合、固定用リング(RX-305N:別売)をLEDモジュールに取付けてください。  
△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 電源ユニット(RX-301NAまたはFX-332N:別売)を取付ビスで確実に取付けてください。  
※取付ビスは別途ご用意ください。  
※電源ユニット(FX-332N:別売)の取付けを行う環境(ケースや壁など)により通信範囲内であっても、正常に制御できない場合がありますので、現場にて通信状況を確認してください。詳しくはゲートウェイ(RX-266W:別売)の取扱説明書を参照してください。  
※電源ユニット(FX-332N:別売)を取付けの際、ワイヤレスモジュールに応力を加えないでください。接触不良が生じ、制御できなくなる場合があります。



- △ 取付けが不十分な場合、部品落下の原因となります。
- △ 電源ユニットは非防水です。湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・器具故障の原因となります。

## ■清掃方法について △注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。

## ●電源工事が必要な場合は、電気工事に依頼してください。

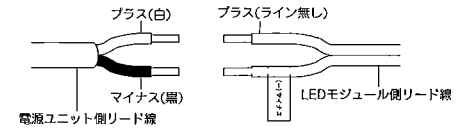
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

- 電源線を接続してください。  
電源線ユニットの入力線と電源線を結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。  
同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

- △ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- △ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

- 電源ユニット側のリード線とLEDモジュール側のリード線を結線し、防水スリーブなどで確実に絶縁処理および防水処理を行ってください。

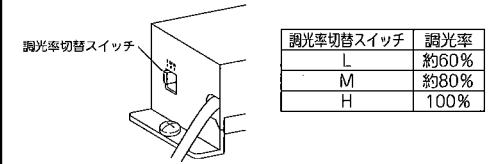
※リード線には極性(プラス・マイナス)があります。



- △ 接続不完全や極性間違い、容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

## ◆調光率の切替について

- RX-301NA  
・調光率切替スイッチで調光率を変更することができます。



- FX-332N  
・タブレット型コントローラ(RX-270N:別売)を使用することで調光率を変更することができます。

